

幼い患者に和みを

笑

# 動物の鼻マスク

これなら、怖くないね……。小児がん患者の支援活動に取り組み茨木市のNPO法人「チャイルド・ケモ・ハウス」(チャイケモ)と民間企業、学生らが協力し、小さな患者を和ませる犬やフタなど動物の鼻つきのマスクができた。小児がんなどでの活用を見込み、来年商品化される。



ファッションショーのリハーサルで動物マスクを使ってコミュニケーションをはかる学生ら(神戸市東灘区の甲南女子大学で)

チャイケモは今年5月、がん患者が快適に過ごせる装いをテーマにファッションショーを開いた。この進捗の際、昨年11月に8歳の長男・結人君を小児がんで亡くした山村福紀子さん(37)が、「入院中の子供たちが、医師らのマスク姿を怖がっていた」と言うのを聞き、服飾専門学校「ビュームンアカデミー大阪校(大阪市)の学生が提案した。患者家族や医療関係者らに「愉快で、子供も親しみやすい」と好評で、チャイケモを支援している玩具会社「マリアス」(東京都港区)が商品化を申し出た。マスクは犬、牛、フタの鼻とアヒルのくちばしの4種類。フェルト製で、洗濯可能。

## 学生も協力 茨木のNPOと企業、商品化へ

実用新案も出願した。マスクのデザインを担当した二人で、同校2年の森本綾子さん(19)は「自分たちのやったことが役立ってうれしい」と話し、田村さんも「このマスクなら先生、お母を交換しよう」なんて、子供と医師とのコミュニケーションが弾みそう」と喜んでいる。

チャイケモは30日午後2時半から、甲南女子大(神戸市東灘区)の大学祭の中で、小児がん患者のためのファッションショー(無料)を開き、試作品を発表する。ただし、台風14号の接近で、神戸、西宮、西宮市で30日午前7時以降、大雨、洪水、暴風の各警報のいずれかが発令されれば中止。学園祭の開催の可否の問い合わせは、同女子大HPまたは学生生活課(078・413・3137)で30日午前9時以降に対応する。